

4年 くにつタイム 正岡「人にやさしい町」プロジェクト

R3. 10 松下

ねらい: 自分と違う友達の意見や考えのよさを認め合いながら、協働的に学び合い、正岡小のみんなが気持ちよく過ごすためのグッドデザイン賞を考えることができる。



【工夫した点・意図】

子どもたちが自信をもって発表したり、自分の意見を言ったりできるように、前時までに発表資料の作成や発表練習などをする時間を設けた。

【学習の流れ】

- ① 自分の発表をする。
- ② だんだんタイム
- ③ だんだん発表

【成果と課題】

- 普段あまり発表することのない児童も、課題意識をもち意欲的に話し合いに参加することができた。
- 友達からのアドバイスをもらうことで、自分の意見をよい良いものにしようとする意識が高まった。
- △ タブレットの画面ばかりを見て、発表する児童がみられた。相手意識をもって発表するということを今後より一層指導していきたい。

課題意識



対話の活発さ



思考の深まり



話し合いのスキル



相手意識
を高める

